

利用マニュアル



装置名	
設置場所(室名)	
担当者(作成者)	

利用条件

- ・担当者が申請書を拠点事務室に提出して利用を許可された人が測定を行う。
- ・測定は産学官連携プラザ1Fの拠点事務室(リサーチ・アドミニスト
- ・鍵を借りて施設に伝え、鍵貸出し簿に時間等を記入すること。
- ・装置利用後は使用簿を記入し、鍵を事務室まで返却すること(同室内に利用者が
- ・装置利用は原則、平日9:00~17:00の間にし、休日・夜間などの時間外の使用に関しては拠点
- ・時間外は管理者不在のため、不具合が生じた場合はその旨をメール(拠点事務室及び担当者宛)

メール：kyotenjim@tokushima-u.ac.jp

予約ページ：<http://www2.e.tokushima-u.ac.jp/jst/ReserveRoom.cgi>
(拠点HPからも予約ページにアクセス可能です)

利用方法

<p>手順</p> <ol style="list-style-type: none">1. (レーザー電源,カメラ)電源をつける2. レーザー冷却水のポンプを稼働させる (SYSTEMをONにする)3. (PC)電源をつける4. (PC)Devis8を立ち上げる5. (Devis8)ステレオキャリブレーション6. (Devis8)レコーディング7. レーザーをONにする8. レーザーシャッターを開ける (レーザー出力)9. データ計測開始10. データ計測終了11. レーザーシャッターを閉じる12. レーザーをOFFにする13. (Devis8)プロセッシング <p>終了の手順</p> <ol style="list-style-type: none">1. (PC)必要なデータを持参したUSBメモリ等に保存する2. (PC)PCを終了する3. (レーザー)SYSTEMをOFFにする4. (レーザー電源,カメラ)電源をきる <p>※実稼働時間は手順7番~12番までとする</p>	
--	--

注意事項

- ・計測を複数回実施する場合は使用簿の実稼働時間は最初と最後の時間を記録する。実際の実稼働時間は延べ時間にして使用簿の備考欄に記載する。
- ・レーザー発光中は他人が不用意に入室しないように表示や鍵を掛けるなどの対策をする。
- ・保護眼鏡をする。
- ・レーザー光路の高さに実験者の視点が来ないように配慮する。
- ・トレーサーの噴煙発生時はマスク等をして、換気扇を回す。
- ・データの保存について、各自で持参したUSBメモリ、外付けHDD等に保存して持ち帰る。USBメモリ等は定期的にウイルススキャンしているものを使用すること。
- ・細かい作業手順や調整の仕方は備え付けのマニュアルを参照すること。

使用簿へのお願い

使用簿の備考欄に実稼働時間を記載する事。

問い合わせ

担当職員名：	
内線番号：	
E-mail：	

※すぐに連絡が見つからない場合は、拠点事務室へ連絡をお願いいたします。